

## 第5回リビング・ウィル／ファシリテーター養成研修会企画書

Key Word : 多様性、対話、ACP、意思決定支援、リビング・ウィル、尊厳死、安楽死

日時 : 2024年7月27日(土) 14:00~7月28日(日) 13:00

集合時間 研修会場に7月27日 13:30 解散7月28日 13:00

場所:ハイネスホテル久留米 会議場

〒830-0033 福岡県久留米市天神町1-6 FLAGKURUME 4F 電話: [0942-32-7211](tel:0942-32-7211)

<http://www.highnesshotel.co.jp>

主催 : 公益財団法人日本尊厳死協会

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 501

参加予定人数 : 約70人

対象 : 日本尊厳死協会支部理事、本部及び支部理事、

本部支部理事の推薦する医療介護福祉関係者及び有識者、LW受容協力医師等

※多様性を尊重するため、職種と男女比を考慮します。

参加費 医師3万円 非医師 2万5千円

※1泊朝食・夕食(懇親会)つき、研修費込みです。お部屋は全室個室。

※夕食・懇親会はホテル内の会場で行います。基本全員参加です。

二次会もホテル内の会場で行いますが、参加は自由です。

問い合わせ先 : 満岡 聡 [mitsuokanaika@gmail.com](mailto:mitsuokanaika@gmail.com) または

嵯峨祐治 [saga@songenshi-kyokai.or.jp](mailto:saga@songenshi-kyokai.or.jp)

目的 : 今回の研修会では、以下のことを目的とします。

1. 意思決定支援に関する歴史と最新の情報を学び、リビング・ウィルとACPの関係についての考え方や、意思決定支援を広げていくファシリテーターとしての学びを深めていただく。
2. ACPを行う上で欠かせない臨床倫理の原則を学び、臨床倫理カンファレンスを経験していただく
3. 意思決定支援・ACPの普及の取り組みと現状について学ぶ。
4. 個人の意思決定、尊厳死、安楽死に関する世界の趨勢について学ぶ
5. Diversity & Dialog (多様性と対話) 多職種の方々の多様性との対話によるコンセンサス形成を経験していただく。
6. 九州を主とした全国各地の在宅医療やプライマリ・ケア、緩和ケアの現場で働く医療・介護・福祉の専門家と宗教者や有識者などの多様な人たちと交流を深め、日本尊厳死協会の活動に理解を深めていただき、ネットワークを構築する。

## 【研修会の開催の背景】

日本尊厳死協会が設立されてから45年が過ぎ、日本の医療は大きく変わって来ています。協会設立当時の1970年代、日本の医療は、生きることが大事で回復不能な方にも延命処置を行っていましたが、ホスピス運動、緩和ケアの普及によりQOLやQOD（Quality of Death）を大切であると価値観への転換が起こって来ています。また、少子高齢化に伴う多死社会に向けて事前指示書やリビング・ウィルをめぐる環境にも大きな変化が出てきました。一つは、エンディングノートや終活という言葉の普及が示すように、いかに人生を終えるかということへの一般の方々への関心が高まってきたこと、もう一つの大きな変化は、厚生労働省が「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を改訂しACP: Advance Care Planning（人生会議）の普及を進めており、意思決定に至るコミュニケーションのプロセスについてもインフォームド・コンセントからSDM（Shared Decision Making）へと変わりつつあります。厚生労働省の委託を受けて、筑波大学の木澤義之先生らが本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会（E-FIELD）も開催されHOME版研修も慶應大学の山岸暁美先生らによって開催されています。

日本尊厳死協会のリビング・ウィルもそうした時代の変化に対応するために、2018年から3年に渡り、哲学者、倫理学者、弁護士、医師などの外部委員の有識者も加えてACPを踏まえたリビング・ウィルの検討と改訂を行い、2022年11月より運用を開始しました。

今回の研修では人生の最終段階の意思決定支援の現状と課題について学び、多職種との対話でコンセンサス形成をする経験をしていただくこと、ACPや意思決定における倫理的配慮について学び、さらに日頃はなかなか触れる機会の少ない臨床倫理の専門家を交えて、倫理コンサルトの実際や倫理カンファレンスのグループワークも行います。さらに世界における個人の意思決定、尊厳死、安楽死の趨勢について学び、日ごろ議論する機会の少ない安楽死に関して議論を深めたいと思います。なお、あらかじめお断りしておきますが、日本尊厳死協会は日本における安楽死を支持していません。

この合宿では日本尊厳死協会の役員のほか、外部からの有識者や現場で活躍している方々に多くご参加いただき、偏りのない多様な考えを集結し、忌憚のない問題提起と実際的な解決策を模索したいと考えています。

コーディネーター 日本尊厳死協会学術研修担当理事 満岡 聡

講師（敬称略）：

板井孝吉郎 宮崎大学医学部教授（社会医学講座生命・医療倫理学分野）

三浦靖彦 岩手保健医療大学教授 臨床倫理

満岡 聰 日本尊厳死協会理事/九州支部長/さが会長  
森田達也 聖隷三方原病院 副院長 診療支援室長  
山岸暁美 一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構 理事長  
盛永審一郎 公立小松大学特任教授/富山大学名誉教授

#### 講演内容案

森田達也先生 「トピック:アドバンスケアプランニング懐疑論と鎮静と安楽死のグレーゾーン」 50分  
山岸暁美先生 ACPの普及への取り組みについて(仮題) 45分  
板井孝壱郎先生 臨床現場における倫理コンサルトの現状と課題(仮題) 45分  
三浦靖彦先生 臨床倫理カンファレンスの実際(仮題)  
盛長審一郎先生 世界における安楽死の趨勢について(仮題) 45分  
満岡聰 リビング・ウイルとACP 30分

#### グループワーク

1. 臨床倫理カンファレンス (三浦靖彦先生が症例提示されます。)
2. 理想的な意思決定支援には何が必要か？
3. 安楽死の是非について

#### 研修プログラム

※プログラムは多少変更する可能性があります。

#### Day 1

13:30~14:00	受付		
14:00~14:05	挨拶	日本尊厳死協会新理事長	北村 義浩
14:05~14:15	オリエンテーション、アイスブレイク		満岡 聰
14:15~14:45	講義 新しいリビング・ウイルとACP		満岡 聰
14:45~15:35	講義 トピック:アドバンスケアプランニング懐疑論と鎮静と安楽死のグレーゾーン		森田達也先生
15:35~15:45	質疑応答		
15:45~16:30	講義 ACPの普及への取り組みについて(仮題)		山岸暁美先生
16:30~16:35	質疑応答		
16:35~16:45	休憩 10分		
16:45~17:45	グループワーク:理想的な意思決定支援には何が必要か？		満岡 聰

グループワーク 25分 発表 25分 全体討論 10分

17:45~18:05 アトラクション (ハーブ演奏) 中村理恵さん  
18:05~18:15 DAY 1 グループ内での分かち合い 全体の質疑応答  
18:15~18:20 事務局からの連絡  
18:20~18:40 ホテルへチェックイン 夕食・懇親会場へ移動  
18:40~20:30 夕食、懇親会  
以後、二次会、部屋のみ、参加自由です。

## Day 2

7:00~8:00 朝食  
8:00~8:30 チェックアウトと研修会場へ移動  
8:30~8:45 事務連絡 アイスブレイク 満岡 聡  
8:45~9:25 講義 臨床現場における倫理コンサルトの現状と課題 板井孝壺郎先生  
9:25~9:35 質疑応答  
9:35~10:50 講義&グループワーク 臨床倫理カンファレンスの実際 三浦靖彦 先生  
講義、症例提示 25分 グループワーク 25分 発表 20分 講評 5分  
10:50~11:00 休憩  
11:00~11:40 講義 世界における安楽死の趨勢について 盛長審一郎先生  
11:40~11:50 質疑応答  
11:50~12:40 グループワーク 安楽死の是非について 満岡 聡  
グループワーク 25分 発表 15分 全体討論 10分  
12:40~12:50 総括 アンケート記入 満岡 聡  
12:50~13:00 写真撮影 事務連絡  
13:00 解散

## 合宿のグラドルール

1. この合宿にはあえて多職種の方に参加いただいています。さまざまな立場がありますが、お互い、フラットな立場で話すため、先生という呼び方をせず、名前に「さん」をつけて呼ぶこと
2. グループワークでは積極的に発言してください。ファシリテーターとなった人は全員が発言できるように気を配ってください。
3. グループワークではファシリテーター（進行）、記録係、発表者を最初に決めてください。役割分担では積極的に自分の役割を買って出ましょう。必ず、一回は何かの役割をすること

4. スケジュールがタイトですので、時間厳守をお願いいたします。
5. 議論の際、相手の発言を否定的な意見を言わないこと。方向性がずれてきたら修正すること。
6. グループ内の意見が一致することは望ましいですが、必ず統一する必要はありません。
7. 自由に発言をしていただくために、この合宿中でのグループワークでの自分以外の発言については内部にとどめておくこと（講師のレクチャーについては問題ありません。）
8. 交流を楽しんでください。笑顔で挨拶をすること。飲みすぎないこと。

主催：日本尊厳死協会 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 501

実行委員会連絡先 TEL：03-3818-6563 嵯峨祐治 [saga@songenshi-kyokai.or.jp](mailto:saga@songenshi-kyokai.or.jp)

実行委員長 満岡 聡 0952-51-2922 mitsuokanaika@gmail.com

090-8761-3632